

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事業事業の概要	事務事業名	市特産品等宣伝事業		整理No.	25	
	担当課	産業振興課	事業別	<input checked="" type="checkbox"/> 非建設事業 <input type="checkbox"/> 建設事業	作成年度	平成20年度
	体系	大-中-小	II-4-(2)活気ある商工業と観光			
	施策のあらまし	④ 観光資源などの積極的なPR			ページ	62
	マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し				
実施期間	平成15年度～(29)年度(年間)					
根拠法令要綱等	名称				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
実施形態	市の実施義務 <input type="checkbox"/> 義務規定 <input type="checkbox"/> 努力規定 <input type="checkbox"/> 任意規定 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大野城市特産品及び推奨品公用交付基準)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 ()					

目的(何のために)	対象(何・誰を対象に)
本市特産品及び推奨品を、各種イベントPR用や行政視察時の手土産・謝礼などとして利用を図り、本市をPRするとともに、市域内の商工業の振興・活性化に寄与するため。	市等が実施主体となる各種イベント時のPR用及び行政視察時の手土産・謝礼など公用交付基準に沿って利用を進めている。
手段(どのような事業を実施して)	成果(どのような成果を期待するか)
特産品焼酎については主管課で一括購入し、イベントPRや行政視察時等の手土産品として所管課からの申請に基づき必要数量を交付している。また、推奨品についても、各課申請に基づき必要数量を使用券方式により交付している。	「ふるさと大野城」の特産品・推奨品として、幅広く市民等へ認知してもらおう一方、商工業の振興、活性化に寄与していく。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い	事例なし
他課等の関連事業	課名		
	事業名		

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		選択理由、特記事項等	選択理由、特記事項等	選択理由、特記事項等	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	2	本市特産品・推奨品として、対外的に市をPRするための購入であり、適切である。	2	1次診断のとおりである。
	②法的な義務性	1			
	③代替性	3			
	合計(9点中)	6			
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	1	主管課で一括購入・管理は適切である。	3	1次診断のとおりである。
	②受益者負担	3			
	③効率性	3			
	合計(9点中)	7			
有効性	①目的の達成状況	3	市等が行う各種イベント用及び行政視察時の手土産品・謝礼などとして利用されており、本市の特産品・推奨品としてのPR効果は大きい。	3	1次診断のとおりである。
	②成果の状況	2			
	③上位施策への貢献度	2			
	合計(9点中)	7			

診断結果	担当課長所見
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	市等が行う各種イベント用及び行政視察時の手土産品・謝礼などとして利用されており、本市の特産品・推奨品としてのPR効果は大きい。 また、各課ごとに予算化すると、下記の状況が予想されることから、当課において適正な需要等に応じ継続すべき事業と判断する。 ①事務量が増える。 ②特産品以外のものも利用される可能性があり、PR効果が低下する。 ③適正な利用についてのチェック機能が低下する。
改善点及び改善を実現するための条件	

診断結果	診断理由等	事業費	人員
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	本事業は、特産品のPRと視察時の土産品代のコスト縮減の2つの目的も有しており、期待されている成果が上がっている。ただし、特産品の品目数が2種類と少ないという課題もある。今後も商工会と連携し、品目数の増加と、特産品を核とした地域産業の活性化促進について検討する必要がある。 本事業は、事業の実施方法が安定し、目的・成果も妥当であることから、経常事業に移行することが望ましい。なお、新たな特産品の企画・開発計画等が生じた時は、新規事業として計画すること。	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> なし